

1997. 3. 6 No. 63



バンクラデシュの手をつなぐ会

私達、「バンクラデシュと手をつなぐ会」は、バンクラデシュのカラムディ村で、現地の村人による委員会(シヨンダニ・シヨンスタ)と協力して次の活動を行なっています。

教育分野 小学校建設、奨学金制度、職業訓練(タイプ、ミシン)、夜間学級、識字学級など

医療分野 母子保健センターの建設と運営、定期的な現地での診療活動、健康および環境調査、医療従事者の研修と村人の衛生教育など

世界中の人と手をつなぐ会

アメリカのシアトルに来て五月月が過ぎました。もうすぐ日本に帰ります。先日教会で送別会をして下さったときわたしの生きてきた道、そしてバンクラデシュのことも話しました。英語を勉強したアルプスランゲージスクール
の新聞にも「手をつなぐ会」のことを英語で書きました。こう

して世界中の人がおたがいに知り合い手をつなぐことができたら、どんな国でもほかの国にないよこところ

を持つています。バンクラデシュでも

アメリカでもつくづくそれを感じました。

こうして世界中の人が仲よく

一歩でも世界の平和に近づける

ように一緒に歩きましょう。

(大木松子)



手をつなぐ会総会は4月20日(日) そろって参加しまひよう!

カラムディ村便り



～教育の質を向上させたい！ 村人の願い～

バングラデシュの学校では1997年度の新学期が1月に始まって、事実上、授業は2月末に開始されました。1月の上旬から2月の上旬にかけて1か月間断食(ラマダン)の時期だったからです。この期間中はイスラム教の元気な大人はだれもが昼間、食べたり、飲んだりしてはいけません。

基本的に小学校で教科書は政府が無料で提供することになっていますが、新しい学年がはじまってすぐに全生徒の手に入るわけではありません。教科書の数が足りないとか、時間通りに運搬できないとかいろいろです。

小学校で教育の質が非常に大きな問題になっています。昨年、現地訪問団員からも指摘があったし、ションダニも長年それを問題として取り上げてます。

質の問題を考えると、一番先に出てくるのが先生の数です。先生や教室の数が足りないので、授業は午前と午後、2部制になっています。したがって、生徒が学校にいる時間が非常に短いし、一人の先生当たりの生徒数も非常に多いのです。

子供達は学校でも十分な勉強ができず、また学校から帰宅しても親が教えてくれる訳ではありません。結局、子供達は勉強をしないまま毎日、毎週、毎年を送り、学年が上がるに連れて勉強内容が難しくなりついていけなくなります。結果として、このような子供はいつか学校から消えていくのです。

どの学校にも先生の数がたりないのは事実です。それに教室の不足や設備の問題があります。ションダニには経済的にもそれほど余裕がないので新しい先生を採用したり、教室を作ったり、設備を用意したりすることができません。

幼児学級ができて何年も経ちましたし、設立当初の目的もある程度達成された

のではないかと思います。そこで、ションダニが考えたのは、幼児学級をしばらく閉鎖して、先生たちを小学校の方へ回すことです。今年、カラムディ東小学校(ジャバニ小学校)の全クラスの授業を一斉に始めるこ



とにしました。そうすると、クラスの数は10、必要とされる先生の数は少なくとも13人。現在のところ、先生の数は教育 coordinator を含めて6人、幼児学級の先生2人、タイプの先生にも午前中教えてもらう。それでも足りないので、ロータリー・クラブのお金で臨時にあと2・3人の非常勤の先生を雇い、子供達の教育の質向上に全力を上げたいと考えています。

教室の問題は残りますが、差し当たり、ホールを区切って教室にし、また今まで幼児教室として使っていた教室も小学校として使う予定です。このようにシヨンダニは限られた予算で最大の実績を上げようと必死で考え、実行しようとしています。7月の現地訪問までどんな実績をあげるのか、楽しみにしましょう。期待しています。

(ラフマン)

国際交流 ボランティアシンポジウムが開かれました

ラフマンさんがパネリストに／3月1日(土) アクロス福岡

福岡県国際交流センター主催のボランティアシンポジウムが開かれました。

パネリストとしてラフマンさんが参加、活動報告として「カラムディ村に学校を建てたいと少年の頃から思っていたこと、日本にきて大木さんを会長とする団体に出会い小学校設立の夢が果たされたこと、その後、母子保健センターの設立などで村人の教育に対する意識も高まり、就学率も年々着実に増加していること、村人の保健衛生に対する関心も少しずつ深まってきていること」などを報告しました。

アフリカ、タイ、カンボジアなどのボランティア活動の現状と問題点も報告され、「ボランティアって何だろう」というテーマのもと意見が述べられました。

結論はボランティアは他人のためでなく自分のためであること、人に出会い、文化に出会って新鮮な感動を得、それによって自分自身が生まれかわっていくということなのだ。

まずは身近な所から、家族のために何かをしてあげる、それがひいては自分の喜びに！結局は自分のため、自己実現のため、と締め括られました。



手をつなく会総会は4月20日(日) そろって参加しましょう!

スタディ・ツアー報告会を行いました

昨年12月、8名がカラムディ村にスタディ・ツアーにでかけましたが、その報告会を2月2日(日)アクロスにて行いました。スライドとビデオを見ながら訪問の様子や、村の状況を聞く事ができました。夏の訪問時と違い、村人は長袖シャツを着てサリーの上にはストールをまとい、ジュート畑は菜の花でうめつくされていました。話や映像では、ジョン・ダニ・ジョンスタのメンバーや学校の先生、医師、看護婦はとても元気な様子でした。母子保健センターの入口から前の道まで50Mくらいありますが、そこにココナツの木を植えたそうです。夏のうだるような暑さの中で高熱の子どもを抱き、汗だくの父親が立っている姿を一瞬思い出しました。日陰になるものが何もなく、それでも列を作り待っている患者のことについて、彼らは話し合ったのでしょうか。報告では1日4人も出産がある事があり、3人の看護婦は忙しく、村の家々をまわる巡回になかなか定期的に行けないそうです。看護婦の1人は妊婦です。24時間体制なので、出産があれば看護婦は夜中でも働きます。安全な出産を求めて彼らの所で出産をする母親が増えているため、看護婦を増やしてほしいという問題は深刻です。スタディ・ツアー参加者から「行ってみたいとわからない国があるんだなと感じました」「きどらない心からの付き合いというものを学びました」「援助するされるではなく生きていく仲間としてずっと関係をもてたらと思いました」などの感想がありました。スタディ・ツアーはどなたでも参加できます。国と、村と、自然にふれ、今私たちが忘れていた何かを知る事ができるかもしれません。



あなたも今年、行ってみませんか?

☆荒尾市で

バンングラデシュの、お話をしました☆

1月18日熊本県荒尾市の高森医院で、バンングラデシュの話をしました。私の看護学校の先生である高森さんが私を病院に呼んでくださいました。職員・御家族・地域の方はスライドを見て「バンングラデシュという国の事は何も知りませんでした。自分のために聞いてよかった。」とおっしゃいました。最近、私はたくさんの人に伝えていく事というのが1番重要なことではないか、ここから、1人ではできない大きな力が生まれてくるのではないかと考えています。声がかかれば、どこでもお話をしたいと思っています。遠慮なく会の事務局へ連絡下さい。 (4)

高橋 かおり



手をつなぐ会総会を開きます

バンクラデシュ・カラムディ村の将来を、
手をつなぐ会のこれからを一緒に考えましょう。

ぜひご参加ください

と き 4月20日(日) 午後2時～5時

ところ アクロス福岡 3F こくさいひろば交流室

1996年度(3月まで)も終わろうとしています。夏の現地訪問、秋の現地スタッフ招聘事業と報告会、冬のスタディツアー、そしてバザーをはじめとする日常のさまざまな活動を皆様の支えで行なうことができました。

今年は、チャリティコンサートやカレンダー制作を中止し、活動を少し制限しました。あまりに手を広げすぎて、一部の人に負担がかかりすぎてきたからです。その分、現地スタッフの招聘事業に合わせた報告会に力を集中することができたように思います。

大木さんの渡米も会の活動に影響しました。募金は大幅に減少しました。しかし一方で新しい会員が確実に増え、会費、協力会費の収入は予想通りとなりました。また、大木さんに集中していた仕事を運営委員会を中心としたメンバーが分担できるようにもなりました。

スタディツアーも順調で、今年は若い人たちが多く、その後の会の活動にも積極的に参加してもらえるようになりました。

カラムディ村では、シヨンダニ・シヨンスタを中心に、今後の計画や予算案が練られ、手をつなぐ会に原案が送ってきました。これに対して、私達日本側がどう対応していくか、運営委員会でも話し合います。村での教育や医療の改善のために、私達に何ができるのか、私達もまた日本で私達の生活を振り返りながら活動を進めていきたいと思っています。

総会はその中でも、一番大切な方針決定機関になります。これから1年間の活動の方向性について、会員の皆さんとじっくりと話し合いたいと思っています。普段なかなか活動に参加できない方も、どうぞご参加ください。ともに語り、ともに考えていきましょう。

手をつなぐ会総会は4月20日(日) そろって参加しましょ！

アジア開発銀行 福岡総会に

市民の立場から参加してみませんか？

1997年5月11日から13日まで福岡市でアジア開発銀行（ADB）総会が開催されます。ADB（本部：マニラ）はアジア太平洋地域における発展途上国の開発プロジェクトに対する融資などを行う機関で、1966年に設立され、現在56か国が加盟しています。ADBの設立以来日本は中心的役割を演じ、日本は最大の出資国で、また歴代総裁は日本人です。

近年アジア太平洋地域の経済成長はめざましいものがある一方で、貧富格差の拡大や環境破壊などの進行などの大きな問題も生じています。ADBもアジア太平洋地域の経済成長に大きな役割を果たす一方で、工業化・自由市場促進のスタンスや、個別プロジェクトにおける住民強制移転などの人権侵害、生活環境破壊が批判されてきました。

アジア太平洋地域のNGO（国際協力市民団体）は1989年総会以来、ADBに対する主張・提言の活動を行ってきました。ADBが近年全融資の50%を社会開発部門に配分する政策を採り、あるいは環境ガイドラインを策定したもののNGOのキャンペーンの成果でもあります。福岡総会でもNGOキャンペーンは行われますが、これを機会に福岡の市民が、市民の立場からADBのあり方、アジア太平洋地域の開発／発展のあり方、さらには私たちのあり方を問い直すきっかけにすることを旨として、私たちは「ADB総会福岡NGOフォーラム実行委員会」を発足させました。多くの皆様の市民の立場からのご参加やご支援をお待ちしております。以下のように主な行事を予定しています。ぜひご参加下さい。

★3月29日（土）「第2回ADB っちゃんね」講演とディスカッション

時間：14時～16時30分 場所：ももちパレス（地下鉄藤崎駅前）

講師：神田 浩史さん（IACOD地域自立発展研究所） 参加費1,000円

★5月3日（土）～4日（日）「アジアを考える映画祭」

場所：クローバーホール（JR春日駅前）（1本当たり当日券1,500円）

5月3日11時～「忘れられた子ども達」 14時30分～「GAMA月桃の花」

5月4日11時～「絵の中の僕の村」 14時30分～「教えられなかった戦争」

★5月9日10日 市民フォーラム

場所：あいれふ（地下鉄赤坂駅徒歩5分）

詳しくは今村（☎092-921-5845）までお尋ね下さい

御協力ありがとうございます。

1. 募金 (個人以外の方) (敬称略)

宮田教会・・・2,000円

新津教会婦人会・・・3,000円

碑文谷教会教会学校・・・10,000円

静岡一番町教会教会学校・・・5,000円

2. 新入会員紹介

山本 鈴、太田 恭子

台 麻理子、有永 昭憲



〈物品販売の御紹介〉

紅茶 (葉っぱ)	600円
絵ハガキ	400円
ストローカード	200円
報告書	300円
民芸品 (クッション、ベスト、 手さげ、コップしき、ETC.)	

【これらの物品は事務所にあります。御入用の方は木曜日の午後に、事前に電話しておいで下さい。また、3月30日(日)のバザーの時にも、お求めになれます。】

《ミニ・ニュース》

去る2月21日(金)、早良郵便局でボランティア団体の集まりがあり、「手をつなぐ会」代表の大木松子さんの代わりに、友納つる子さんが出席されました。郵便局のしくみや、ボランティア分配金等のお話を聴き、ビデオを見てこられたそうです。



お知らせとお願いコーナー
3月～4月の行事予定

(未定・変更される場合があります。ご確認ください。)

月 日	時刻・時間	内 容	場 所
3月15日(土)	14:00	NGO福岡ネットワーク定例会	アクロス福岡
3月20日(木)	19:00～	運営委員会	西新事務所
3月30日(日)	13:00	チャリティーバザー	西新商店街
4月17日(木)	19:00	運営委員会	西新事務所
4月20日(日)	14:00	Bangladesh と手をつなぐ会総会	アクロス

- 3月30日(日) 恒例のバザーを西新商店街においていたします。
 前回はたくさんの品物が集まり、収益金も10万円余りになりました。
 不用品・お歳暮など家に眠っている品物、手作りの物などがございましたら、お知らせください。
 (822-5795)事務所 または (872-1136)にのさかクリニック に電話して
 いただければ取りにいきます。

- 前日(3月29日 土) 午前10時頃から値段つけなどの作業をします。
 お手すきの方はお手伝いをお願いします。

- カラムディ村の訪問は、7月19日～8月4日の予定です。
 参加者ご希望の方は申し出てください。
 事務所 または ラフマン(632-3382) ニノ坂まで!



Bangladesh と手をつなぐ会

〒814 福岡市早良区西新5-4-20
 TEL&FAX092-822-5795
 代表 大木松子
 郵便振込 01720-2-10442
 加入者名 Bangladesh と手をつなぐ会